

「柿崎病院は頸北地域の中核病院だ」 「病院改革ガイドライン」の質問で市長答弁

総務省は昨年12月、「公立病院改革ガイドライン」を全国の自治体に示し、経営効率化、再編ネットワーク化及び経営形態の見直しという3つの視点に立った「改革」の計画を来年3月末までに明らかにするよう求めています。

このガイドラインに沿った計画が策定された場合、「不採算医療の切り捨て」が起こり、市内の上越地域医療センター病院や県立柿崎病院の存続にも大きな影響を与えます。

私は3月議会の一般質問でこの問題を取り上げ、市長に「今後の具体的な対応はどうするか」を問いました。

市長は「中央病院及び柿崎病院はいずれも県立病院であることから、改革プランについては設置者である県において策定されることになるが、現時点では、どのような検討をされるのかについての情報は得ていない。この度の改革プラン策定に当たっては県及び関係機関と十分な協議を行ってまいりたい。県立柿崎病院について

では、頸北地域の中核病院としての重要性・必要性を強く認識しており、これまで市としても地元後援会の皆さんとともに、県や新潟大学などに對して医師をまねく活動を行っているほか、病院機能の充実について県への要望を重ねているところであり、今後もこの基本姿勢を変えることなく取り組んでまいりたい」と答えました。

県立柿崎病院は、地域住民共有の財産であり、命綱です。頸北地域住民の命と健康を守るためにも、総務省のガイドラインに負けることなく、存続充実を目指してがんばります。

学校給食民間委託推進、福祉バスなど”真に必要な行政サービス”削る予算に市民クラブ、共産反対

3月議会の最終日、上程されていた議案など

15日に年金から2か月分 天引き…後期高齢者医療保険料

75歳以上のすべてのお年寄りから保険料を取り立て、受けられる医療サービスを制限する後期高齢者医療制度が1日、始まりました。

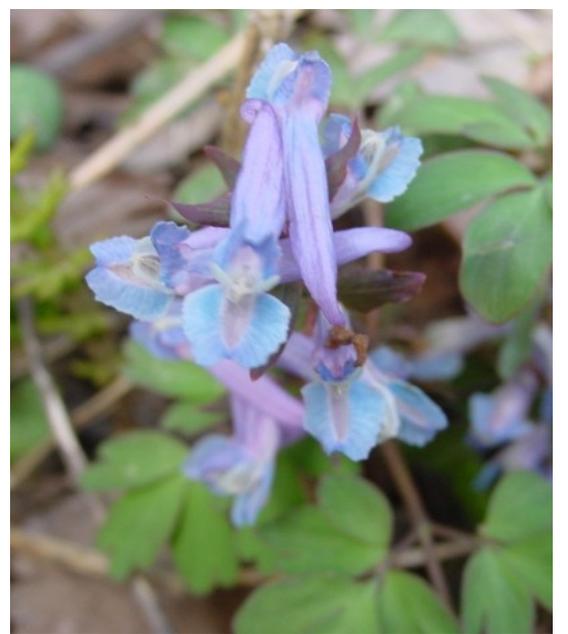
すでに関係者には保険証が届けられ、この15日には年金から2か月分の保険料が天引き（一部を除く）されます。

日本共産党は全国で街頭宣伝を行い、75歳以上のお年寄りが、従来と別枠の保険に囲い込まれ、保険料は天引きされ、保険のきく医療は制限されることなど制度の仕組みを告発しました。こうした差別は、健康診断から、外来、入院、さらに終末期医療、葬祭費にまで及びます。

福田首相は、たいへん評判が悪いことから、急遽、この医療制度の名称を長寿医療制度に変更することに決めたといいます。しかし、中身が変わるわけではありません。日本共産党は民主党、社民党など4党共同で後期高齢者医療制度廃止法案の提出にむけて動き出しました。



写真はコシノコバイモ。山方地内にて1日撮影。



【エゾエンゴサク】丸滝温泉の近くでキクザキイチゲと共に咲いています。花の色は薄紫色です。3日撮影。

の採決が行われました。日本共産党議員団は、新年度一般会計予算、国保税値上げ条例及び関連予算、水道料値上げ条例及び関連予算に反対、他はすべて賛成しました。新年度一般会計予算については市民クラブも反対しました。

討論に立った日本共産党議員団の樋口議員は新年度一般会計予算について、木造住宅耐震設計支援事業の創設などいくつか評価できるものがあるとしながらも、①各部局において、「真に必要とされる施策は何か、真に必要とされる住民サービスとは何か」について具体的な検討がほとんどされずに編成作業がすすめられた。その結果、福祉バス運行業務で利用者から負担を取るなど障害者や高齢者に冷酷なことが予算に盛り込まれた。②ごみ有料化実施で市民の暮らしに打撃を与える。③農業予算は、大規模経営体のみならず、意欲的な家族経営などにたいしても十分なる支援措置をとるべきだった。④学校給食の民間委託にこだわり、新年度からは民間からの派遣もとり入れ、民間委託につなげようとしている。しかも業者選定作業に疑問点を残したまま、新年度に入ろうとしている、こうしたことを理由にあげ、反対しました。

市民クラブも学校給食民間委託路線にもとづく市教委のやり方に反対して討論をしました。